

クレスコ、情報共有基盤システム刷新 人・情報・知識の有機的ネットワークで企業内コミュニケーションを活性化

受託ソフトウェア開発会社クレスコ（東京・港区、熊澤修一社長）は企業のコミュニケーションを活性化させるべく、11月4日、リアルコム株式会社（東京・台東区、谷本 肇社長兼CEO）の「REALCOM® KnowledgeMarket®」の全社運用を開始いたしました。

当社は2001年、品質問題が会社経営そのものを危うくする事態に追い込まれました。「仕事のやり方が人によって違う」「モノ作りのノウハウが個人知に留まっている」といった現象を打開するため、仕事のやり方を変える戦略のひとつとして自社開発によるナレッジマネジメントを推進してまいりました。これにより、「情報と知識を共有する」という意識が醸成され、開発技術、品質面で大きな改善がみられました。

しかし、これまでのナレッジマネジメントシステムは技術開発分野に利用者が限定されていました。「REALCOM® KnowledgeMarket®」の導入で、全社・全部門が参加し、事務処理等のナレッジも含んだ情報共有が可能となりました。気軽に投稿でき、社員相互の「顔」が見えるコミュニティを実現することで、ナレッジ（個人の知識）利用の敷居が低くなると考えております。情報の集約、共有、活用といったサイクルが回転することで、社員個々が保有する知識やノウハウを統合・整理し、「知」を使い易くすることができます。

当事業の源泉はまさしく「人」にほかなりません。「社員間のコミュニケーションを活性化し、個々が保有する知識の総和をいかに事業経営に活かすか、これが企業の競争優位性確保の鍵を握るのは確か。ナレッジマーケット（知識の流通機構）を整備し、ナレッジワーカーを育成することは自己革新企業へ生まれ変わるために是非とも必要なのです。」（熊澤社長）

ナレッジマネジメントシステムの刷新を通じ、①社員満足度の向上と一体感の醸成 ②良い知識の共有と創造 ③良い製品・サービスの提供 ④お客様満足の実現を実現してまいります。

「REALCOM® KnowledgeMarket®」について

個人の知識や情報を組織で共有し活用する環境を提供する「人中心」のナレッジマネジメントシステム。ブログやソーシャルネットワーキングサイト（SNS）のほか、ポータル構築、文書管理、プロジェクト（特定メンバーのコミュニティ）、KnowWho などコミュニケーションを活性化させる多くの機能を持っています。ライセンス料は標準で17,800円。現在、大手企業36社を含め170社が導入、ユーザー数は50万人にのぼります。

リアルコム株式会社について

リアルコムはナレッジマネジメント専門のベンダーとしてNo.1の実績を持つベンチャー企業。「人中心」のナレッジマネジメントを通じた企業変革をテーマに、パッケージソフトウェア製品「REALCOM® KnowledgeMarket®」シリーズを開発。

製品導入のみならず企業のナレッジマネジメント推進に最適なコンサルティングを提供する事で、経営課題解決につながるソリューションを実現しています。

ホームページ：<http://www.realcom.co.jp/>

会社概要

1. 代表者：熊澤 修一
 2. 設立：1988年4月1日
 3. 資本金：2,514百万円
 4. 社員数：904名（2008年11月現在）
 5. 事業内容：
 - ・ 情報処理システムの設計及びコンサルテーション
 - ・ システム機器、通信機器の開発・製造及び販売
 - ・ コンピュータ用ソフトウェアの開発・製造及び販売
 - ・ マイクロコンピュータシステムの開発・製造及び販売
- 会社名、所在地、電話、FAXは本資料右上に記載してあります。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社クレスコ 経営企画室 米崎道明（よねざき みちあき）までお願いいたします。

電話：03-5769-8011 FAX：03-5769-8019

E-mail:yonezaki@cresco.co.jp

上記リリース内容は、当社ホームページ <http://www.cresco.co.jp> にも掲載しております。